

南ア月報
(2018年1月)

在南アフリカ日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 与党 ANC 創立106周年記念集会
- 与党 ANC 全国執行委員会 (NEC)

【外交】

- ンコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣の「移民に関する AU 閣僚会合」への出席及びモロッコ訪問
- ラマポーザ副大統領のダボス会議出席
- ズマ大統領の AU 総会出席

【経済】

<経済指標>

- 政策金利の据置
- 経済成長
- インフレ率
- 為替レート
- 製造業
- 鉱業生産高
- 自動車販売台数

<出来事>

- 中銀総裁、IMF 政策諮問委員会議長に就任
- 12月の貿易収支額増加

【警備】

- 年末年始の交通死亡事故発生状況
- クワズルナタール州における車両に対する投石被疑者の逮捕

1 内政

●与党 ANC 創立106周年記念集会

13日、与党 ANC 創立106周年記念集会が東ケープ州イーストロンドンで開催され、約3万人以上が参加した。同集会では昨年12月の第54回 ANC 全国大会で選出されたラマポーザ新総裁がスピーチを行い、ズマ派も包摂した党の団結と、汚職のない党への再生を呼びかけた。さらに投資にも重点をおき、土地改革を含む不平等是正措置は投資家を脅すような形での実施は避けるべきこと、及び、投資誘致によってこそ貧困と不平等を解消すべきことが指摘された。

●与党 ANC 全国執行委員会 (NEC)

18-19日、与党 ANC は、ラマポーザ体制発足後初めてとなる同党全国執行委員会 (NEC) の定例会合を開催した。ズマ大統領の進退に関する議論については、マハシューレ ANC 事

務局長が記者会見の中で「ズマ大統領の任期について議論が行われたのは事実。しかし、その場で結論が出たわけではなく、今後、党6役が本件に対応していくこととなった。」旨述べた。また ANC 全国作業部会 (NWC) が発足した (5年に一度開催される全国大会と全国大会の間の ANC 最高意思決定組織が NEC であるのに対して、NWC は NEC での議論・決定に向けた諸準備を行う作業部会との位置付け。)

2 外交

●ソコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣の「移民に関する AU 閣僚会合」への出席及びモロッコ訪問

(1) 9日、ソコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣は、「移民に関する AU 閣僚会合」に出席するためにモロッコを訪問した。南アは、安全で秩序のある規則正しい移民を指向するアフリカ共通の立場を強化するために、この閣僚会合を重要視している。

(2) ソコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣は、モロッコの AU 加盟を歓迎した。同大臣は、「我々は、モロッコが AU という枠組に戻ってきたことを喜ばしく思う。モロッコの AU への復帰が、国連と AU が関与し、国際法の原則に従って未解決の西サハラ問題を解決するために必要な対話を可能にするものであることを望む」と述べた。

●ラマポーザ副大統領のダボス会議出席

22日、ラマポーザ副大統領は、ダボス会議に出席するためにスイスを訪問した。南ア代表団は、同国が引き続き魅力的な投資先であることを強調した。同副大統領は、様々な国のハイレベルの政治及びビジネス分野のリーダーと会談した。ラデベ大統領府大臣、デイビス貿易・産業大臣、パテル経済開発大臣、ヌシュレコ公共事業大臣及びソコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣が同副大統領に同行した。

●ズマ大統領の AU 総会出席

ズマ大統領は、28日から29日の日程で開催された AU 総会に出席するためにアディスアベバを訪問した。ソコアナ＝マシャバネ国際関係・協力大臣、ヌカクラ国防・退役軍人大臣、マスワンガニ運輸大臣、ムタンビ行政サービス・管理大臣及びボンゴ国家安全保障大臣が同大統領に同行した。27日、同大統領は、同総会のマージンで開催された故マンデラ大統領の生誕100周年記念レセプションを主催した。29日、AU の指導者達は、アフリカ航空輸送単一市場 (SAATM: Single African Air Transport Market) を立ち上げた。南アも署名した SAATM は、運輸の権利を自由に行使し、オーナーシップ及び (輸送の) 回数、料金及び能力に関する規制を撤廃し、アフリカ諸国に市場への自由なアクセスを提供するものである。ズマ大統領は「アフリカ大陸がアジェンダ2063の完全な実施に向けて行動していることは喜ばしい。我々が、アフリカ大陸の住民の生活に直接的な影響がある決定を行うことは、極めて重要である。我々は、とても実地的な方法で貿易、投資及び観光の障害を取り除いている」と述べた。

3 経済

<経済指標>

●政策金利の据置

18日、南ア準備銀行 (中銀) は金融政策委員会を開催し、政策金利を6.75%に据置くと発表。本決定の背景は、インフレリスクの軽減及び経済成長見通しの改善を受けてとのこと。新たなインフレ率の見通しは2017年: 5.3% (据置き)、2018年: 4.9% (▲0.3ポイント)、2019年: 5.4% (▲0.1ポイント)。現在、インフレ率のターゲット幅3~6%の真ん中

にあり、2018年第1四半期で底打ちし、ターゲット幅の上限に近づくと予想。

●経済成長

南ア準備銀行、世銀及びIMFによる今後3年間のGDP成長率の見通しは次のとおり（括弧内は前回予想値）。

南ア準備銀行 2017年：0.9%（0.2%）、2018年：1.4%（1.2%）、2019年：1.6%（1.5%）

世銀 2017年：0.8%、2018年：1.7%、2019年：1.7%

IMF 2018年：0.9%（1.1%）、2019年0.9%（1.6%）

●インフレ率

南ア統計局によると、12月の消費者物価指数（CPI）は4.7%、前月比0.1%増。食品及びノンアルコール飲料、住宅、運搬などの部門での価格は、前月から比較して平均0.5%値上がりした。

●為替レート

2018年1月31日付（南ア準備銀行）

1ランド=9.1530円

1ランド=11.8753米ドル

1ランド=14.7717ユーロ

●製造業

南ア統計局によると、11月の製造業生産高は、前年同月比1.7%増。主な要因は、食品・飲料で6.0%増、並びに鉄鋼、非鉄金属製品、鉄製品及び機械類で4.6%の生産増。季節調整後生産高は、前月比0.9%増（10月の前月比は0.8%増、9月の前月比は0.1%減）。

季節調整後生産高は、6月～8月の3ヶ月と比較して、9月～11月で0.5%増を記録。製造業10部門中5部門で生産増を記録し、特にガソリン、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で2.9%増と食品及び飲料で1.1%増がみられ、他方で自動車関連製品では0.3%生産減がみられた。

●鉱業生産高

鉱業生産高は、前年同月比6.5%増。最大の要因は、PGMsで12.3%増、鉄鉱石で20.7%増、及び石炭での8.5%増であったが、金は8.5%減を記録。季節調整後生産高は、前月比0.7%減（10月の前月比は2.7%増、9月は6.8%減）。季節調整後生産高は6月～8月の3ヶ月と比較して、9月～11月で1.1%減。最大のマイナス要因はダイヤモンド（1.1%減）、及び金（1.0%減）。

●自動車販売台数

南ア自動車工業界（NAAMSA）は、2017年の自動車販売台数を発表し、前年比1.8%増、4年ぶりに増加し、557,586台を記録したと発表。主に、新車及び軽自動車部門での販売増が寄与し、特に新車販売台数の16%をレンタカー業界が占めた。また、総輸出台数も過去3番目に大きな329,053台を記録した前年比4.6%減であるが、2018年1月の国内での新車販売はやや低迷し、前年同月比8.9%減。他方で、1月の輸出台数は前年同月比22%増で14,212台となった。総販売台数の45,888台のうち78.1%をディーラーが、17.3%をレンタカー業界が占めている。また、NAAMSAは、2018年には輸出台数11%増となる見込みとした。

<出来事>

●中銀総裁、IMF政策諮問委員会議長に就任

18日、南ア準備銀行はカニャーゴ総裁がIMF政策諮問委員会議長（任期3年）へ就任したことを発表。また、31日、同総裁はCentral BankingからGovernor of the Yearに選出された。国内政情が不安定な中、準備銀行の独立性の維持、及びガバナンスを評価されたことが選出理由。

●12月の貿易収支額増加

31日、南ア歳入庁（SARS）は、12月の貿易収支額が約157億ランドの貿易黒字を発表（なお、前年同月は約30.2億ランドの赤字を記録していた）。総輸出額は約1043億ランド、総輸入額は約886億ランド。また、先月11月の貿易収支額は130.5億ランドへと上方修正された。

4 警備

●年末年始の交通死亡事故発生状況

1月22日、南ア政府から年末年始における交通死亡事故に関する統計が発表された。統計は、2017年12月1日から2018年1月9日までの交通事故死者数に関するもので、この期間中の交通事故死者数は1527人であり、前年同期の1875人から11パーセントの減少となった。州ごとの内訳を見ると、全国9州のうち7州で交通事故死者数が減少したものの西ケープ州で7パーセント、北西州で11パーセントの増加となっている。なお、事故の原因として速度超過や飲酒運転が指摘されている。

●クワズルナタール州における車両に対する投石被疑者の逮捕

1月24日、ダーバン・メトロ警察は、高速道路N2上に掛かる橋から車両に対して投石した被疑者2名を逮捕した。この投石事件は、走行中の車両を止めて強盗に及ぶために行われるもので、クワズルナタール州の高速道路N2、N3で多発しており、昨年末には車両に乗っていた姉弟が投石を受けて死亡する事態となっていた。今回の逮捕により投石事件が沈静化に向かうことが望まれるが、被疑者は複数いると考えられ、また、投石事件はヨハネスブルグプレトリア間の高速道路N1上でも1月後半に続けて発生しており、南ア全土において、高速道路上に掛かる橋の下を通行する際は、速度を落として事前に橋の上部を確認する、（周囲の交通状況にも十分注意した上で）橋の直前で車線を変更するといった対策が必要である。

（了）